

ラブレター (1981)

メディア 映画

ジャンル エロティック ロマンس ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 83分

初公開日 1981/08/07

【解説】

詩人・金子光晴の愛人からの聞き語りを江森陽弘が小説にまとめた「金子光晴のラブレター」を、田中陽造が脚色し東陽一が映画化。につかつロマンポルノの10周年記念作品として製作された。

詩人の小田には有子という愛人がいた。小田が有子を訪ねるのは気まぐれだったが、生活費だけは定期的に届けていた。しばらく小田が来ないことに不安を覚えた有子は、彼が病気の妻を看護していることを知り、睡眠薬を飲んで倒れてしまう。有子のもとへ駆けつけた小田は、彼女を介抱した。やがて有子は小田の子供を身ごもるが、小田に反対され墮ろしてしまう。有子は精神を病み入院。退院が迫ったある日、小田の急死を知らされ激しいショックを受ける。

【クレジット】

監督	東陽一
企画	佐々木志郎
プロデューサー	前田勝弘
原作	江森陽弘
脚本	田中陽造
撮影	川上皓市
美術	綾部郁郎
編集	市原啓子
音楽	田中未知
助監督	栗原剛志
出演	関根恵子
	中村嘉律雄
	加賀まり子
	仲谷昇